2025 年 9 月 26 日
一般社団法人日本損害保険協会　関東支部

ＪＲ水戸駅で交通事故防止街頭啓発活動を実施！

～水戸警察署・茨城県警察・茨城県等と連携して反射材着用等を呼びかけ～

日本損害保険協会関東支部茨城損保会（会長：柴尾 哲也　三井住友海上火災保険株式会社 茨城支店長）では、水戸警察署・茨城県警察・茨城県・茨城県安全運転管理協会等と連携して、ＪＲ水戸駅南口にて「茨城県の交通事故防止街頭啓発活動」を実施しました。

当日は、総勢 34 名の関係者が参加し、駅利用者に、反社材付啓発チラシや、ピカチュウ反射リストバンド等を配布し、交通安全を呼びかけました。

茨城県の 2024 年交通事故死者数は、全国ワースト 9 位 94 人、高齢者死者数は全国ワースト 7 位 54 人、飲酒運転死者数は、全国ワースト 11 位 5 人となっています。また、本年に入ってからの交通事故死者数（2025 年 8 月末時点）は、全国ワースト 10 位 49 人となっており、そのうち、水戸市内での死者数は 8 名と県内ワーストとなっています。茨城損保会では、これまでも県警・県等と連携し、県独自の交通事故防止チラシ（高齢者事故・飲酒運転事故防止）や、交通事故防止動画（飲酒運転編・交差点編）での周知啓発を行ってきましたが、県内の交通事故発生状況を踏まえ、さらなる県民・市民への周知を目的とし、秋の交通安全運動（9 月 21 日～30 日）に先駆けて街頭啓発活動を実施しました。当支部では、今後も関係機関と連携し、交通安全・交通事故防止に係る啓発活動を進め、県民の皆様の安全・安心に繋げていきます。

柴尾損保会長による挨拶

水戸警察署・荒井交通官による挨拶

茨城県交通安全キャラクター ストップくん

街頭啓発活動の様子

挨拶する茨城県警察・西野課長補佐

参加者全員で記念撮影